

公表

事業所における自己評価総括表

【保育所等訪問支援】

○事業所名	つくしんぼ教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年3月14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の希望に合わせ、計画的に保育所等訪問支援事業を実施しています。	訪問を生かせるよう目的を明確にして、心理士、保育士、児童発達支援管理責任者の立場から連携を図ります。  当日のみでなく、継続的に連携をとっています。	具体的に情報や計画を共有するため、保育者が双方の見学をしたり経過を確認する機会を作ります。
2	心理士、保育士、児童発達支援管理責任者が複数で訪問してより多角的なアプローチを行っています。	訪問先のお話を伺い、実際の姿を見学して児の能力や集団における課題や、短期目標、長期目標を確認して、具体的な取り組みについて助言等を行います。	心理士以外の専門職（言語聴覚士、作業療法士、理学療法士）が必要に応じて訪問をしていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園で必要としている事項や情報をタイムリーに提供することが難しい場合があります。	日頃のやりとり（接点）が少ない園があります。  市外の園など、連携の不足を補うために更なる方法を要する場合があります。	定期的に連絡をとったり、双方の行事や連携会議、見学の機会を有効に利用していきたいです。
2			
3			